

## てんけんくんが行く!!

## 消防整備でファイア〜ッ!

## ～東京消防庁 編～



**業**界のマスコットキャラクター「てんけんくん」がさまざまな場所へ突撃取材を行うシリーズ「てんけんくんが行く」の第8弾。「東京消防庁」の整備工場で整備長をされている山岸政利さんにてんけんくんが突撃!

☆

晩夏、渋滞した幹線道路。テールランプと積乱雲を背にサイレンが鳴り響く。

道を埋め尽くした車両が徐々に端に寄って行く。モーゼの十戒を彷彿とさせる光景。やがて散光式回転燈が放つ赤い光と共に、地平線から消防車がその雄姿を徐々に現した。朱色の車体には、白銀に輝く消防章。車体とのコントラストがその存在感を際立たせている。

「…なんて勇壮なんだ…」呟くてんけんくんの顔を赤く染め、サイレン音と共に走り抜ける消防車。

「消防車ってどう整備しているんだろう…」てんけんくんの足は東京消防庁整備工場へと向かっていた…。

☆

てんけんくん：わあ！すごい数の消防車だ！

山岸さん：近年、緊急車両のオーバーワーク状態が続いています（救急車の場合、平均48秒に1回出動）。出動回数の多い消防署ですと、年間走行距離が4万キロを超える救急車も多いのです。各消防署でも訓練前の整備点検や交代時点検、日夕（にっせき）点検など、点検と確認は常に怠りません。皆様

の安全を守るべき立場にある我々が、整備不良による遅延や事故に巻き込まれるわけにはいけません。任務を確実に遂行するためには定期点検は欠かせません。

整備工場で行う我々は決して表舞台に出ることはありませんが、「任務遂行の基盤となる重要な支援を行っている」と自負しております。

てんけんくん：表舞台を支える技術者集団なのですね！カッコイイ！でも、消防車っていつ出動するかわからないですよ。整備工場へ入庫してしまうと、消防署は火事や救急のとき出動できなくて、困っちゃうんじゃないですか？

山岸さん：消防車や救急車の点検整備は、各消防署の配置台数にムラができないよう「年間計画」と呼ばれるスケジュールで管理されています。入庫した消防署には代車（予備車両）が配置されているので、支障がないようになっております。『火災や災害などから大切な生命や財産をまもる』という使命をもった緊急車両ですから、むやみやたらに入庫させることができません。そのため、摩耗劣化を察知し、故障が起きる前の「予防整備」を徹底しており



山岸政利さんと握手！

◎整備を待つ消防車の数に圧倒！消防車の色が「赤い」のは、道路運送車両の保安基準で「消防自動車にあっては朱色とする」と定められているから。一般に消防車は「赤」と言われているけど、法規上は「朱色」なんだ。



整備工場の皆さんにお願いして、一緒に写っていただきました！



水源から遠く離れた火災に対応するための特殊車両「遠距離大量送水車「SUPER PUMPER」。



てんけんくんがはしご車の上で敬礼！  
実は高所恐怖症(?)のてんけんくん…

ます。「トラブルの芽を潰す」ということは自動車整備に限らず、防災や安全すべてに共通することだと思います。

**てんけんくん**：なるほど！さすが整備と防災のプロ！ところで、ここでは消防車のどのような整備を行っているのですか？

**山岸さん**：当整備工場では板金塗装をはじめ、ほぼ全ての点検整備に関わる作業を行っています。消防車のポンプやはしご車の特別装備はもちろん、消防隊員が背負う「空気ボンベ」や「破壊器具(救助の際、障害物を排除するためのもの)」のメンテナンスもここで行います。そうそう、消防車の外装が災害で破損してしまった場合、どう修理するか知っていますか？

**てんけんくん**：えっと、まずは部品屋さんに部品を注文して…それから…

**山岸さん**：実はここで部品を「作る」のです。消防車の外装部品は「シャーリング」という鉄板を切る機械と「ベンディングマシーン」という鉄板を折り曲げる機械で作ります。もちろん塗装も我々が古い、さらに必要があれば「内装」や「機能部品」もここで作製します。つまり、ここは消防車や救急車



消防庁整備工場では車の内装をはじめ、ほとんどの装備品の作製や整備を内製化しているんだ。写真は消火ホースと消防車を繋ぐアタッチメント。真鍮の柱からここまで削り上げる職人芸には感動！

の「整備基地」と言っても過言ではないのです。

**てんけんくん**：えええっ！部品を自作しちゃうんですか！?よほど優れた知識や技術がなくてはできないことですね！スゴイっ！

話は変わりますが、最近ニュースで自動車火災が取り上げられています、どれくらいの頻度で起きているんですか？

**山岸さん**：実は昨年、東京都だけでも596件の車両火災が発生しています。1日に換算すると1.6件になりますから、決して珍しい火災ではなく、身近なものと言えるでしょう。

これら車両火災の原因は「機械的なもの」と思われがちですが、実は「人為的なもの」が上位に入っています(※表参照)。日頃から自動車にも防災意識を持ってもらえれば、防げる車両火災も多いのです。たとえば、自動車に小型消火器を積んでいれば、万が一のとき、被害を最小限に抑えることができます。また、放火による車両火災を防ぐことは、直接防犯にも通じるのです。

**てんけんくん**：なるほど！自動車火災を防ぐ極意は点検整備と同じように「自分のクルマは自分で守る」ってことですね！よーし、もっともっと点検整備の大事さを伝えなきゃ！

☆

「てんけんくん」の好奇心は止まらない。明日はどこに突撃するのか……(続く)

取材協力：東京消防庁



情報収集や応急処置、初期消火を行う東京消防庁のバイク部隊「クイックアタッカー(消防活動二輪車)」の車両にまたがるてんけんくん。もう気分は消防隊員？(※奥にある車両は無人走行放水車「レインボーファイブ」)

平成15年、東京消防庁管内で起こった車両火災の起火原因

| 合計          |            | 596     | ⑤たばこ         | 30 |
|-------------|------------|---------|--------------|----|
| ①金属と金属の衝撃火花 |            | 149     | ⑥ライター        | 30 |
| ②放火(疑い含む)   |            | 116     | ⑦車両等の衝撃火花    | 14 |
| 電気関係        | 小計         | 95      | ⑧触媒装置        | 11 |
|             | 交通機関配線     | 43      | ⑨内燃機関        | 7  |
|             | ③ディストリビュータ | 18      | ⑩ブレーキライニング   | 7  |
|             | 蓄電池        | 12      | ⑪車輪          | 6  |
|             | その他の電気関係   | 22      | ⑫金属と非金属の衝撃火花 | 5  |
| ④排気管        | 74         | ⑬その他・不明 | 52           |    |

(資料提供：東京消防庁)